

**製品名: CDK1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80960**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDK1
別名	CDC2; CDC28A; P34CDC2; MGC111195; DKFZp686L20222; CDK1
遺伝子 ID	983.0
SwissProt ID	P06493
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDK1 の精製された組み換え断片。

**背景**

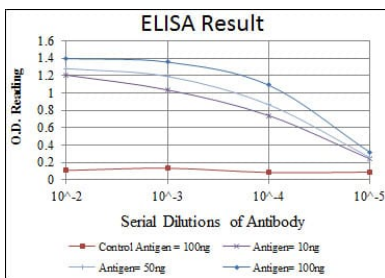
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このタンパク質は、M 期促進因子（MPF）として知られる高度に保存されたタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットであり、真核生物の細胞周期にお

る G1/S 期および G2/M 期の移行に必須です。有糸分裂サイクリンはこのタンパク質と安定的に会合し、調節サブユニットとして機能します。このタンパク質のキナーゼ活性は、細胞周期を通じてサイクリンの蓄積と分解によって制御されます。このタンパク質のリン酸化と脱リン酸化も、細胞周期制御において重要な調節的役割を果たします。

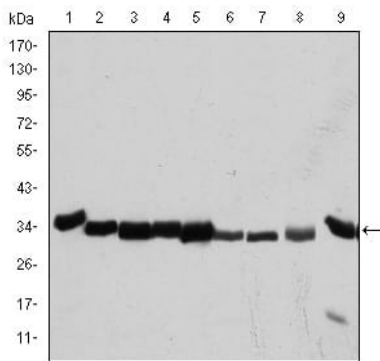
## 研究分野

アポトーシス

## 画像データ



赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



Hela ( 1 ) 、 Jurkat ( 2 ) 、 K562 ( 3 ) 、 A431 ( 4 ) 、 MCF-7 ( 5 ) 、 RAW264.7 ( 6 ) 、 NIN/3T3 ( 7 ) 、 PC-12 ( 8 ) 、 および Cos7 ( 9 ) 細胞溶解物に対する CDK1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。